

標 題 : Adherence to the Mediterranean diet and lymphoma risk in the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition.
がんと栄養に関するヨーロッパ追跡調査における
地中海食事の順守とリンパ腫のリスク

著 者 : M. Solans, et al. (スペイン Centro de Investigación Biomédica en Red: Epidemiología y Salud Pública (CIBERESP))

掲 載 誌 : Int. J. Cancer. 2018 Dec 26. doi: 10.1002/ijc.32091. [印刷に先立つ電子出版]

要 旨 :

がんに対して地中海食事が予防する役割の証拠が増えている。
しかし追跡研究はまだ、リンパ腫に対するその影響を調査していない。
地中海食事の順守とリンパ腫およびそのサブタイプのリスクとの間の関連を、「がんと栄養に関するヨーロッパ追跡調査(EPIC)研究」で我々は評価した。
1991年と2001年の間にヨーロッパ10カ国で募集した参加者476,160人を、解析で収録した。
地中海食事の順守を、アルコールを除外した「適合相対地中海食事スコア」から推計した。
潜在交絡因子を調整しながら、Cox 比例ハザード回帰モデルを使用した。
平均13.9年間の追跡中に、3,136件のリンパ腫が確認された(ホジキンリンパ腫135件、非ホジキンリンパ腫2,606件および特定不能のリンパ腫395件)。
全体として、地中海食事スコアの1点上昇はリンパ腫の2%低いリスクと関連したが(95%CI 0.97-1.00、 p 動向=0.03)、地中海食事スコアの高、低とリンパ腫のリスクとの間に統計的に有意でない逆相関が観察された(ハザード比(HR): 0.91 (95%CI 0.80- 1.03)、 p 動向=0.12)。
リンパ腫のサブタイプによる解析では、統計的に有意な関連は明らかにならなかった。
少ない症例数にもかかわらず(N=135)、ホジキンリンパ腫で示唆的な逆相関が認められた(HR 1点上昇=0.93 (95%CI 0.86- 1.01)、 p 動向=0.07)。
しかし研究には、リンパ腫サブタイプの小さな効果量を検出する統計的な力が欠けている可能性がある。
上昇した地中海食事スコアは EPIC でリンパ腫全体のリスクと逆相関したが、サブタイプとは関連しなかったと、我々の研究結果が示唆している。
この研究結果を確認するためには、さらに大規模な追跡研究が必要である。

この論文は著作権によって保護される。著作権所有。

キーワード : ヨーロッパ、地中海食事、リンパ腫、追跡研究、リスク
